

## 水痘ワクチンについての説明



静岡県立こども病院 予防接種センター

### 1) 水痘

水痘(水ぼうそう)は、水痘帯状疱疹ウイルスの感染により発生する急性感染症です。感染してから発症までの期間(潜伏期)は 14～21 日です。軽度の発熱と全身の水疱が特徴です。発疹は体幹に多く、顔面や四肢に少ないこと、また、丘疹、水疱、痂皮(かさぶた)の順序で現われ、同一部位に様々なタイプの疹が混在することが特徴です。一般的には1週間ぐらいで自然になおりますが、免疫が落ちている場合は重症化します。合併症はとびひがしばしば見られます。約 3,000 例に 1 例の割合で水痘脳炎を合併することがあります。

### 2) ワクチンの効果

1 回の接種では十分な免疫が着かないため、2 回接種します。2 回接種すれば、ほぼ 100%の予防効果が期待できます。

### 3) ワクチンの特徴

弱毒化した水痘帯状疱疹ウイルスを凍結乾燥した生ワクチンです。

### 4) 接種方法

○1～2 歳(36 か月未満)の小児が対象です。

○接種量は 0.5ml で、2 回皮下注射します。間隔は、最低 3 か月、標準的には 6～12 か月あけます。

### 5) 副反応

健康小児では、ほとんど副反応は認められません。免疫力の低下などハイリスクの人では、接種後 14～30 日に発熱を伴った丘疹、水疱性発疹が出る場合があります(急性白血病患者では約 20%)。このとき、周囲に感染を拡大する可能性はあるものの、その率は極めて低いとされています。ハイリスクの方では、ワクチン接種後に带状疱疹が生じることがありますが、その発生率は自然に感染した患者よりも低い水準です。

### 6) 接種上の注意点。

○生ワクチンですので、ガンマグロブリン投与後は一定期間ワクチン接種ができません。

### 7) 接種後の注意

ワクチン接種後 30 分間は院内にとどまり、様子を観察して下さい。接種部位の腫脹、体の発疹、じんましん、気分不良、嘔吐、咳や呼吸困難などの症状が見られたら、直ちに接種した医師か看護師に声をかけて下さい。この間に異常が見られなければ、看護師にその旨、一声かけて帰宅して下さい。

### 8) 帰宅後の注意

激しい運動はさけて下さい。その他はいつも通りの生活を送ることができます。入浴もさしつかえありませんが、注射した部位をこすらないで下さい。

### 9) その他

他のワクチンを続けて接種するときは 4 週間以上の間隔をあけて下さい。